

住民生活に密着した 各種建設事業を重点的に

昭和四十九年町議会第一回定例会が三月八日から十一日まで開催され、四十九年度予算、一般会計八億一千二百九十五万円、国保特別会計二億四千百三十三万六千円、食肉センター特別会計八千七百五十六万一千円、有線特別会計二千六百四十八万八千円、総額十一億六千八百三十三万五千円が全員一致で可決されました。

新年度予算は、最近の石油危機を背景とした物価急騰に対処する国の総需要抑制政策、またこの方向に則って決定された地方財政計

画などの緊迫した基調を踏まえながら、医師住宅、道路の整備など住民生活に密着した各種建設事業を重点計上すると共に、教育、衛生福祉事業について、現下の社会状況を勘案し、積極計上されております。

四十九年度予算の主な内容についてお知らせします。

一般会計

四十九年度一般会計は、総額八億一千二百九十五万円で、前年度

に比較すると二十七・四%。実績一億七千四百九十五万円の増加となっております。

歳入の内訳は、自主財源(町税繰入金、財産収入など)の占める割合が、三十七・五%、三億四百四十五万三千円で前年度に比較し、六十三・七%の増加となっております。

一方これに対し依存財源(地方交付税、国県支出金、町債など)の占める割合は六十二・五%、五億八百四十九万七千円で、前年度

に比較し十二・五%の増加となっておりますが、構成比率は逆に八・四%減少しています。

歳出では、投資的経費(道路整備事業、医師住宅、庁舎建設事業など)の占める割合が四〇・一%三億二千五百九十六万九千円で、前年度に比較し十九・二%の増加となっております。

また、経常的経費(人件費、物件費など)は五十九・九%、四億八千六百九十八万一千円で、前年度に比較し三十三・六%の増加となっております。

特別会計

◎国民健康保険

国保特別会計予算額は、二億四千百三十三万六千円で、前年度に比較し五十三・六%、実績一億三千九十七万七千円の大幅な増加となっております。

主な増加は、歳出で本年二月に実施された医療費の改定及び昨年十二月に新設された高額療養給付費(新規計上)などによるものです。

これに対する歳入としては、保険税(対前年度増加率五十六%)、国庫支出金(対前年度増加率五十九・九%)繰越金の大幅な増加をもつて措置しています。

◎有線放送センター

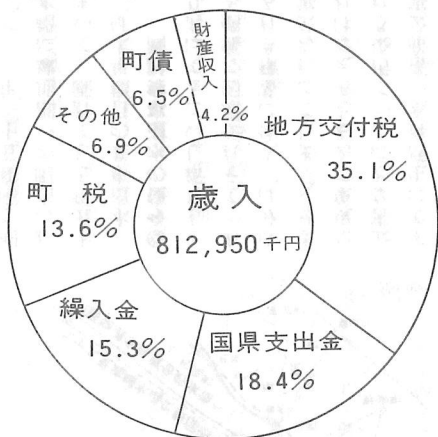
有線放送特別会計予算額は、二千六百四十八万八千円で、前年度

5,000円で可決

三月八日から十一日までに行なわれた
昭和四十九年度予算審議町議会



歳入の構成割合



歳出の性質別内訳

